

すぎなみ大人“熟”してる？

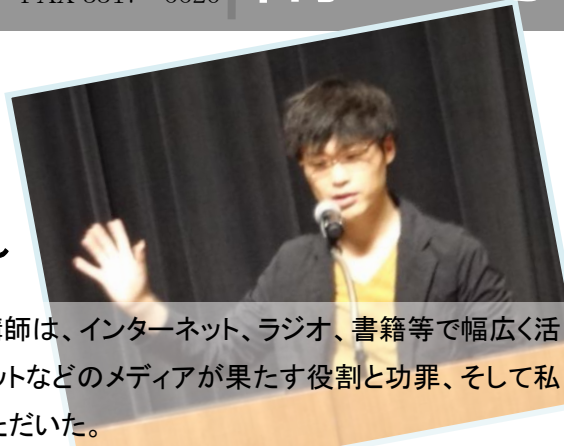
Jukusiteru? TIMES'16

5月21日

平成28年6月1日発行
発刊元：塾熟出版（事務局）
東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

創刊号

すぎなみ大人塾&すぎなみ地域大学共同講演会



この社会を読み解く大人の基礎知識

『メディアのうそ、メディアのほんとう』～荻上チキ氏 講演会～

今年の大人塾受講生を迎え入れ、学びの第一歩となる開講記念講演会。今年の講師は、インターネット、ラジオ、書籍等で幅広く活躍する若き気鋭の評論家・荻上チキ氏。現代社会においてテレビ、新聞、インターネットなどのメディアが果たす役割と功罪、そして私たちとメディアとの付き合い方等について、時に鋭く、時にユーモアを交えてお話しいただいた。

メディアの「クセ」を知るべし

メディアの活用や、情報を受け止めるにあたっては、それぞれのメディアの情報の選び方や取り上げ方…いわば「クセ」をよく認識しておく必要がある。一つの新聞、一つのTV番組からだけでは、物事の一面的な部分しか見えてこない・実像が伝わらない・何らかの誤解が生じる…等の問題が起きる場合がある。新聞やテレビといったマスメディア、いわば「上から降ってくる」情報をしっかりと取捨選択することは「縦のリテラシー」というが、さらにインターネットで誰でも情報を発信できるようになった今、隣人から送られる流言、デマを見極める「横のリテラシー」が求められているという。そのためにも、さまざまなメディアから情報を得ることはとても重要なのだ。

荻上氏のいう「大人の学び」とは？

「大人の学び」について荻上氏が望むこと、それは、何かのセミプロになって欲しい！ということだ。その上でメディアを活用し情報発信し、仲間を募り、社会を動かして行ってほしいとお話された。社会を動かす!?メディアを活用!?ハードルが高いと思うかもしれない。だが、自分たちの活動を下支えするものとして情報をうまく活用することは、活動の内容や大小に関わらず重要なことであろう。

また、荻上氏がNPOを作って取り組んでいるいじめ問題について、「いじめをなくす方法を考えるのではなく、その逆の状況がどうしたら生まれるか考えてみてください。それが答えになる」というお話がとても印象的であった。逆の立場から考えてみるという思考方法は、さまざまな場面で活用できそうだ。

知的好奇心をめいっぱい刺激された90分。これからの暮らしと、大人塾を通した様々な出会いの中に存分に活かして行ってほしい。(文：遠藤)

日常のあらゆるものが、「メディア=コミュニケーションをつなぐ道具」として分析できる。衣服もその一つで、「自分がどんな人間か？」を伝えるメディアなのです。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 情報のあり方、とりいれ方、見方がよく分かりました。考えるきっかけになりました。
- ニュースで事例も豊富で、説得力が大変ある方だと思いました。
- メディアについて全体的な理解を身近な実例をとおして納得できたこと&具体的にこれからどうすればいいかというアクションを考えることができた
- 観念的でなく、具体的に、生活してゆく上のヒントになりました。



大人塾を支える「おとな」たち

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

アソビ 広石 拓司♂

株式会社エンパブリック代表 新しいことを始めたい思いのある人が、自分の地域・組織を舞台に、周りの人たちの力を借りてスタートできるように、場づくり、仕事づくり応援に取り組んでいます。

アソビ 高橋 明子♀

東京都出身、荻窪在住。三和総合研究所を経て独立。『番組づくりは地域づくり』を合言葉に、身近な暮らしや地域のことを生活者が発信する“住民ディレクター”活動を杉並及び全国で展開中。杉並 TV 代表、総務省地域情報化アドバイザー。

だがしや 谷原 博子♀

博多出身。FM福岡のアナウンサー、長崎国際テレビ報道局を経て、現在はフリーに。現在は杉並区の学校・地域コーディネーターとして学校と人をつなぎ、まちを楽しくする活動をしています。夫と大学生の息子2人、男たちに囲まれ？暮らしています。